

南箕輪村むらづくり委員会（第４回）会議録

令和５年１１月１４日（火）
午後７時～午後８時３５分

出席報告【出席者 計 34 名】	
むらづくり委員会 (23 名)	山岡 勉 委員 長谷川 義隆 委員 加藤 直樹 委員 高木 武 委員 唐木 茂人 委員 酒井 きよみ 委員 清水 真知子 委員 伊久間 美昭 委員 伊澤 武善 委員 清水 克俊 委員 足立 芳夫 委員 田口 和弘 委員 小椋 信子 委員 菅家 美果 委員 平野 幸代 委員 千 菊夫 委員 富岡 順子 委員 橋場 麻衣子 委員 入倉 眞佐子 委員 松田 聖一 委員 井口 千鶴 委員 稲生 正徳 委員 吉川 つづり 委員
事務局（３名）	地域づくり推進課長 高橋 地域づくり推進課 企画係長 宮下 地域づくり推進課 企画係 清水
事業説明者（７名）	産業課 商工係長 有賀 観光森林課 大芝サービス係長 征矢 産業課 農政係長 鈴木 総務課 秘書広報係長 池田 教育委員会事務局 学校教育係長 北原 教育委員会事務局 社会教育係長 丸山 総務課 管理防災係長 山口
オブザーバー（１名）	株式会社プロジェクトデザイン 大槻

欠席者（6名）	北原 泰司 委員
	唐澤 成江 委員
	宮坂 大樹 委員
	吉澤 孝 委員
	石坂 祐三 委員
	三澤 聡 委員

1. 開会 入倉会長代理

2. 会長あいさつ 足立会長

急に寒くなり、山に雪が積もっている。秋が無くいきなり冬というような時期となった。

今回も前回に引き続き評価を進めていく。全部で 16 項目があるが、円滑な審議にご協力いただきたい。

3. 協議事項

① 村創生総合戦略の検証について 会議資料 2・3 を村役場担当者より説明

(1) 商工係（No.2、3） 産業課より説明

- ・ No.2 企業振興補助金交付事業所数 達成率 66.7%（判定 C）
- ・ No.3 村・県制度資金申請件数 達成率 87.5%（判定 B）

【質疑】

Q：事業費がそれぞれ No.2 約 3,500 万円、No.3 約 2,000 万円という数字が出ているが、村の予算に対する執行率はどのくらいのパーセンテージなのか。

A：No.2（企業振興補助金交付事業所数）は、ほぼ 100% No.3（村・県制度資金申請件数）については後日回答させていただく。

(2) 大芝サービス係（No.16、18、19） 観光森林課より説明

- ・ No.16 観光 PR イベント開催回数 達成率 129.2%（判定 B）
- ・ No.18 経ヶ岳・権兵衛峠を活用したイベントにおける登山者数 達成率 50.0%（判定 A）
- ・ No.19 「ふるさと名物」商品化件数 達成率 71.4%（判定 A）

【質疑】

Q：No.18（経ヶ岳・権兵衛峠を活用したイベントにおける登山者数）は、登山者数は減っているが、イベント実施そのものを評価して、A 判定としているのか。

A：経ヶ岳は気軽に入れる山であるため、登山者数を正確に把握するのは難しいのが現状。登山道の整備や災害復旧によって入山する人も増えてはきていて、村の観光資源として更なる活用が期待できるため、そのような評価とさせていただいた。

Q：毎年、中学生が経ヶ岳に登っているが、No.18（同上）にはその数値は入っているのか。

A：入っていない。

Q：経ヶ岳は何月から何月までを登山時期として開放しているのか。

A：入山規制は特に設けていない。

Q：登山する方への勉強会や登山に向けた支援など、村として何か行っているのか。また、登山者からこうして欲しい、ああして欲しいといった意見などは挙がってこないのか。

A：登山道の整備や災害復旧など手を入れていることはあるが、個人への支援は行っていない。登山者からのご意見は個別でいただいている。登山道を増やしてほしい、新しいルートを整備してほしい、といったものが多い。

Q：No.16（観光 PR イベント開催回数）について、先日のイルミネーションフェスティバルがテレビ放映されると役場から連絡があり、ぜひ見に行ってください、という宣伝があった。その日の週末に大芝高原へ寄ったが、味工房が閉まっていた。せっかくテレビで放映して PR した良い機会だったのに、とても残念。また大芝のインフォメーションセンターの意見箱だが、半年前から紙とペンが無い。また 1 週間前からタッチパネル式の南箕輪村の宣伝コーナーがあるが、画面の中央に×印が表示されていて使えなくなっているし、パンフレットが入っていそうなダンボールが事務室の奥の方に押し込まれていて用具室みたいな見え方となっている。そこに道の駅スタンプもあるが、利用客が多い。しかし、その掲示物が古いものだったりしている。ちゃんと見直してほしい。あとそのポスターに、大芝湖で子ども遊んでいる姿があるが、確か大芝湖は入れなかったはずでは？

A：大芝湖は湖水に入れない。

Q：そこも見直した方がよい。

A：貴重なご意見ありがとうございます。大芝高原は開発公社に指定管理で委託している。観光森林課として開発公社と協議し、来園者が少しでも気持ちよく過ごせるように整えていきたい。

Q：南箕輪村にとって観光は重要なものの一つだと思っている。色々な情報発信をされていると思うが、具体的な発信方法についてお聞きしたい。

A：主な情報発信はインスタグラムなどの SNS。その他、伊那ケーブルテレビやラジオ、テレビなども広報として使わせていただいている。

Q：観光の魅力発信として X（旧 Twitter）を活用するのも手ではないか。有効なハッシュタグを付けて PR するような形を良く見かけるが、南箕輪村ではやっているのか。

A：観光協会と開発公社の共同で情報発信している。他の好事例を参考にしつつ有効活用をされていると思うが、再度確認して、発信方法について検討いただくようお願いしてみる。

Q：No.16（観光 PR イベント開催回数）だが、実施回数が 31 回と大変すばらしいと思うが、どこに向けて PR しているものなのか。村外向けてなのか県外に向けてなのか。またカウントは難しいかもしれないが、イベント参加者数はだいたいどれくらいだったのか。どのイベントにどれくらい参加があったなど、数字が出てこないとどんな効果があったのかがわかりづらいと思うが、いかがか。

A：年間通したイベントについて、人数把握出来ると出来ないものがある。去年はコロナもあったので、基本的には村内を重点に PR していたが、今年からは村外に発信している。その中で集計すれば、発信から集客に結び付いたのかなど集計ができると思うが、今は即答ができない。次回までに集計して回答させていただく。

Q：No.16（観光 PR イベント開催回数）について、小学生の子どもがイベントチラシを貰ってきて、友だちどうして約束してとても楽しみにしてイベントに参加させていただいているので、親としても子ども達だけで羽を伸ばせる機会や成長できる場があって大変ありがたいと感じている。ただ、協力隊の方が主催されているイベントも結構あると思うが、そうした方々の任期が終わった後にもぱたりと無くなるのではなく、何か継続できるような仕組みを作っていただけたらと思う。

A：貴重なご意見ありがとうございます。

Q：No.18（経ヶ岳・権兵衛峠を活用したイベントにおける登山者数）で「経ヶ岳バーティカルリミット」という大きなイベントが実施されていると思うが、このイベントの参加者数は実施数字に入っているのか。

A：「経ヶ岳バーティカルリミット」は令和4年度はコロナ禍ということもあり開催していない。は令和5年度は開催して660人くらいが参加したが、以前の7割くらいという状況である。

Q：基準値はコロナ前の数字が含まれているという認識で良いか。

A：基準値に含まれている。

Q：登山口での登山者数の話が出たが、大泉ダムのところが登山口だと思うが、権兵衛峠の方にも登山口があるが、そちらの方は特にこの数字に含まれていないという認識で良いか。

A：そちらの数字も含めている。

(3) 農政係（No.5、13） 産業課より説明

- ・ No.5 中核的経営体が地域の農地に占める面積のシェア 達成率 90.5%（判定 B）
- ・ No.13 市民農園面積 達成率 100.0%（判定 A）

【質疑】

Q：No.5（中核的経営体が地域の農地に占める面積のシェア）は、継続して同じ人が借りるということも出来るのか。

A：はい。同じ型が同じところを借りるということはある。地主の方との契約によって期間が変わるが、契約終了後に同じ人に貸したい、また借りたい、といった形で貸し借りはある。手続きの方法があるので、それに則って進めていただければ問題はない。

Q：No.13（市民農園面積）は、もう増やさないという話であったが、昨年 0.3ha から今年 0.5ha に増えている。増やしたということか。

A：大変申し訳ありません、記載誤りです。昨年同様 0.3ha で、達成率 100.0%です。

Q：箕輪町の市民農園だと、先生がついて講習しながら畝の作り方やマルチの張り方など、全部で5～6回ほど受講ができる。今までやってきた野菜よりも品質が良くなった。南箕輪村でも導入を検討していただきたい。

A：貴重なご意見ありがとうございます。開園式の時に農協の技師を招いて講習会を行い、その後の不明点は農協に来てください、という方法を取っている。しかし、今伺った方法も大変有効かなと思うので、参考にさせていただく。

(4) 秘書広報係（No.15） 総務課より説明

- ・ No.15 持ち家世帯の区加入率 達成率 96.6%（判定 C）

【質疑】

Q：達成状況（会議資料3）に書かれていることは新しい方となっているが、持ち家世帯の加入率は南箕輪村全体の値なのか、それとも転入者新規の方なのか、どちらの数字なのか。

A：南箕輪村全体となるため、昔から住まわれている方も含め、1年間での指数となる。

Q：説明理由のところで書かれている高齢者世帯についてだが、全体の何%にあたるのか。

A：高齢者世帯の脱退については、村で把握できるのは家庭の事情や転出によるもので、具体的な理由については村役場のほうでは把握できていない。

(5) 学校教育係 (No.22、25、26、35) 教育委員会事務局より説明

- ・ No.22 登下校見守りボランティア登録者数 達成率 67.0% (判定 B)
- ・ No.25 体験学習実施時間数 達成率 255.0% (判定 A)
- ・ No.26 キャリア教育・郷土教育実施時間数 達成率 400.0% (判定 A)
- ・ No.35 学校教育での自然学習時間 達成率 1,866.7% (判定 A)

【質疑】

Q : No.26 (キャリア教育・郷土教育実施時間数) だが、キャリアコーディネーターとして富岡委員が入られたからこそ数値 21 時間/年から 80 時間/年にアップしているということだと思うが、どういふことをやってこられたのか教えていただきたい。

A : 令和 3 年以前はコロナ禍ということもありコーディネーターは週 1 回お越しいただいたが、令和 4 年度からはずっと年間を通して動いていただけるような状態となっている。その他、内容としても多々理由がある。陶芸であったり、製材所見学であったり、木工づくりやわさび棚の復活であったり。あと中学校ではキャリア教育の関係で大人と語る会があったり、職場体験学習、マナー講座など実施している。本来、上農高校であったり信州大学や南信工科短期大学などありますので、その繋がりを深めるような活動もあわせて実施いただいている状況となっている。

(6) 社会教育係 (No.27、28) 教育委員会事務局より説明

- ・ No.27 わくわくクラブ会員数 達成率 75.3% (判定 B)
- ・ No.28 スポーツ施設利用者数 達成率 74.6% (判定 B)

【質疑】

Q : No.27 (わくわくクラブ会員数) について、入会しようにも情報が全く入らず状況がわからない。伊那総合スポーツクラブは規模の違いはあるものの、パンフレットがあったり、クラス分けがあったりと分かりやすい。他の周りの人たちも運動をしたいという人はいるが、わくわくクラブがどういうものかが見えない。見学に行く人はもう入りたいという人であるため、見学に行きたいと思わせないと会員数は増えないのではないか。ホームページの情報をアップしたり、どんなことをやっていて、どんな人たちがいるといった情報を出す必要があると考える。

A : わくわくクラブもパンフレットやホームページはあるが、ちょっと見辛いか、特定のウェブツールからアクセスができないといったことがあり、各クラブに対して改善する用に依頼をしている。村も関わっているが、クラブはあくまで別の団体となるため、いただいたご意見を参考にクラブと協議しながら検討していきたいと考える。

(7) 管理防災係 (No.32、33) 総務課より説明

- ・ No.32 防災に関する出前講座開催数 達成率 25.0% (判定 C)
- ・ No.33 防災士養成人数 達成率 90.6% (判定 B)

【質疑】

Q : No.33 (防災士養成人数) について、養成する PR はどのようにやっているのか。

A : ホームページや損害保険会社、自主防災会を通じて制度の周知を行っている。

Q : もし要望があったときは、区からお願いするのか、それとも個人からお願いするのか。

A : 防災士になる事に関しては、防災士の取得できる社団法人があり、そちらに対して直接応募されても受け付けられる。詳しいことをお尋ねしたいということであれば、総務課までお問い合わせをいた

だきたい。

Q：年齢制限は設けているのか。

A：設けていない。ただ、資格を取得するにはテキスト代などの費用がかかる。また講習も受講いただくが、2日くらいはかかるものになる。もし村の消防団に所属されていて、一定程度の役職を経験された方に対しては免除規定もあるということもご承知いただきたい。

【全体質疑】

Q：進捗状況の判定だが、進捗率にすればマイナスのパーセンテージが出ても、村の予算比に対して100%を超えているという項目がある。もっと良い評価を出してもいいのではないかという疑問がある。例えばNo.2（企業振興補助金交付事業所数）はC判定だが、予算措置が100%であればもっと高い評価をしても良いと考える。

A：事業費について補足すると、当初予算は2,800万円を見込んでいたものに補正予算を組んで支払っている。当初予算ベースでは100%を超え、補正分を加えて100%の実績となる。

Q：子ども達へのスポーツ等のイベントに対する様々なサポートがあると思うが、文化活動、例えば音楽活動に関しての今後の展望というものについてお聞きしたい。例えば駒ヶ根などでは小さい頃からバイオリンを教えるといった講習を行い、広げていくことで親もその成長を楽しみにすることが出来たりという事で、今後に繋がっていくのではないかという感じがする。南箕輪村ではどうだろうか。

A：子どもへの文化活動支援ということでは今後検討していく余地はあると考える。スポーツは指標が載っているが、文化活動については元々の指標がないので、この場でご検討いただく機会がないというところが現状である。ただ、総合戦略の中では文化活動についても推進していくこととなっている。南箕輪村で文化活動が弱いということがあるかもしれないが、社会教育の面から地域振興の面からも取り組んでまいりたい。

Q：村のごみアプリを活用しているが、あのような形で村公式のLINEを作る予定はあるのか。

A：すでに公式LINEアカウントを開設している。しかし、友だち数が1,830人で総人口からするとちょっと少ない感じがする。周知が行き届いていないかと思う。これから広報をがんばっていききたい。

② 村民アンケートについて

【質疑】

Q：このアンケートはどのようなスケジュールで進めるのか。

A：1月末に対象者へ発送、2月いっぱい回答期間として受け付け、3月には回収を完了させる。回答項目の評価分析を行い、5月～6月頃にむらづくり委員会へご報告する予定でいる。

③ その他 なし

4. その他

次回会議日程について 事務局より説明

第4回南箕輪村むらづくり委員会	<u>11月14日（火）午後7時から</u>
第5回南箕輪村むらづくり委員会	<u>12月5日（火）午後7時から</u>

5. 閉会 入倉会長代理